

# CASBEE<sup>®</sup>新潟 | 評価結果 |



■使用評価マニュアル: CASBEE新潟マニュアル、CASBEE-新築(簡易版)2008年版  
 ■使用評価ソフト: CASBEE新潟(v.1.1)

## 1. 建物概要

建物名称	多目的ホール学校町(仮称)	
建設地	中央区	
用途地域	近隣商業地域、準防	
建物用途	集会所	
竣工年	2011年7月 予定	
敷地面積	2,672.07 m <sup>2</sup>	
建築面積	1,257.13 m <sup>2</sup>	
延床面積	2,226.46 m <sup>2</sup>	
階数	地上3F、PH1F	
構造	S造	
評価の段階	実施設計段階評価	
評価の実施日	2010年11月18日	

## 2. CASBEE新潟の評価結果

	B+	$BEE = \frac{Q \text{ 建築物の環境品質}}{L \text{ 建築物の環境負荷低減性}} = \frac{58}{50} = 1.1$
S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★		

## 3. 新潟市の重点項目の評価

重点項目	平均スコア	評価	項目	スコア
1. 長寿命化の取組み 誰もがずっと安心して生活するために	3.5		バリアフリー	3.0
			維持管理	4.5
			更新性	3.0
2. 地震への取組み かけがえのない人命、財産、思い出を守るために	3.0		耐震・免震	3.0
			信頼性	3.0
3. 大雨への取組み 大雨につよまちはづくりのために	2.0		雨水排水負荷低減	2.0
4. 自然エネルギー利用の取組み 地球温暖化対策のために	2.0		建物の熱負荷抑制	1.0
			自然エネルギー利用	3.0
5. 資源循環の取組み 持続可能な循環型社会づくりのために	3.3		節水	3.0
			リサイクル材の使用	3.0
			再利用可能性向上	4.0
6. 水と緑を活かす取組み 豊かな田園空間を次世代に引き継ぐために	3.5		生物環境の保全・創出	3.0
			敷地内温熱環境の向上	4.0
7. 新潟のまちなみへの取組み 地域の魅力を伝承・創造していくために	2.5		まちなみ・景観への配慮	3.0
			地域性への配慮・快適性の向上	2.0

## 4. 新潟市の重点項目の配慮事項

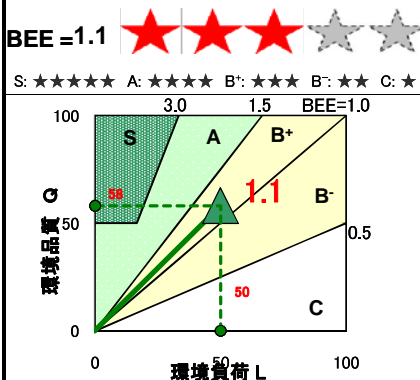
新潟市の重点項目に関する配慮事項を記載してください。

- ・耐震性・安全性を基盤とし、高齢化社会に対応したバリアフリー、ユニバーサルデザイン等を配慮した建築物の設計を心掛け、建物を利用する全ての人々の安心・安全を目指しました。
- ・周辺環境との調和を図りながら、屋上緑化を施すなど、環境配慮と歴史ある「みなとまち新潟市」に溶け込むような景観の創出に配慮しました。

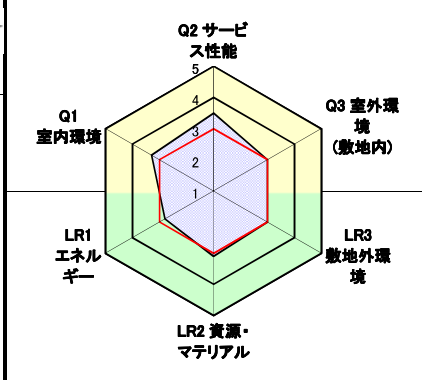
# CASBEE<sup>®</sup>新潟 | 評価結果内訳

■使用評価マニュアル: CASBEE新潟マニュアル、CASBEE-新築(簡易版) 2008年版 使用評価ソフト: CASBEE新潟(v.1.1)

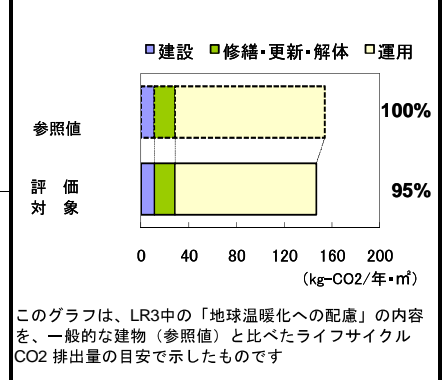
## 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)



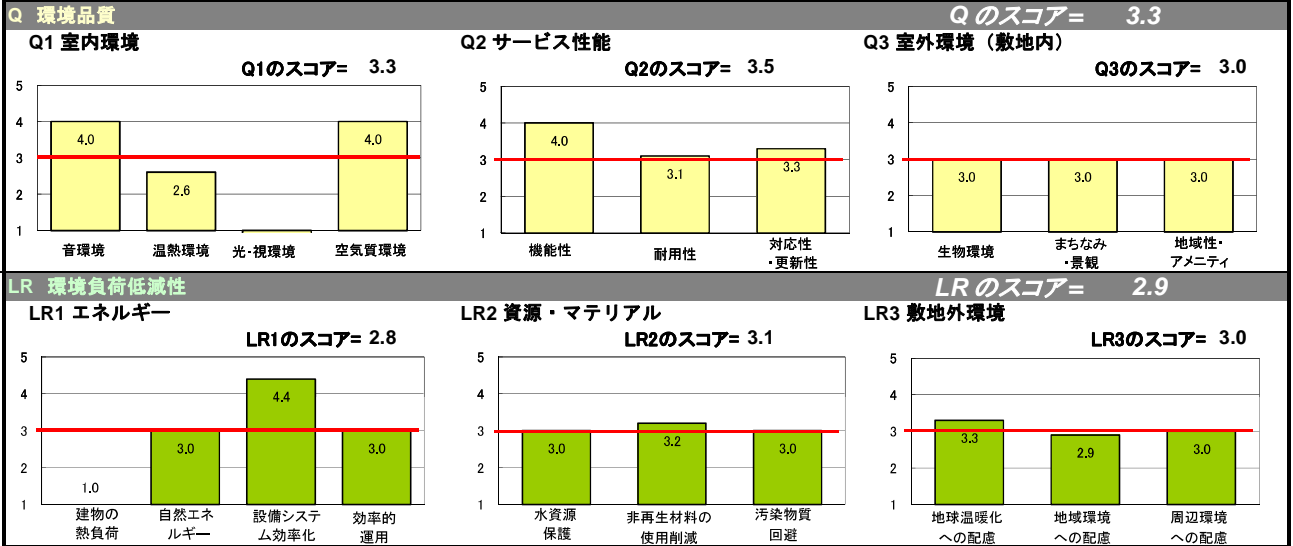
## 2-2 大項目の評価(レーダーチャート)



## 2-3 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)



## 2-4 中項目の評価(バーチャート)



## 2-5 設計上の配慮事項

<p><b>総合</b> 建築物の建設を通じ、屋上緑化を施すなど環境問題に真摯に取り組みながら、周囲との調和を図り良好な景観が形成されることを目標としております。</p>	<p><b>その他</b> 今回のCASBEEは、建物の評価としてはホール棟のみのとし、敷地単位としての評価は立体駐車場も算入した全体を評価対象としました。</p>
<p><b>Q1 室内環境</b> 全ての建材を規制対象外・告示対象外・F☆☆☆☆を採用し、空気質汚染を回避するよう努めました。</p>	<p><b>Q2 サービス性能</b> 機能性と安全性を第一に、快適に過ごせる住環境と緊急時の適切な対応が可能であるように配慮しました。</p>
<p><b>LR1 エネルギー</b> 外壁・屋根には断熱材を敷設、複層ガラスを採用いたします。 高効率空調機・コパ®外型蛍光灯®を採用しています。</p>	<p><b>LR2 資源・マテリアル</b> 近年、地球レベルでのエコリサイクルが推奨されておりますが、既存建物部材の劣化が見られる為、安全等を考慮し、既存躯体無しとします。</p>
	<p><b>Q3 室外環境(敷地内)</b> 敷地内には、可能な限り植栽を施し、環境と共に景観にも配慮しました。 また、周辺建物との調和を考慮し、極力建物高さを抑えました。</p>
	<p><b>LR3 敷地外環境</b> 騒音は新潟市条例に基づき、振動は振動規制法に基づき規制基準をクリアできるように低騒音・低振動の設備機器類を選択しました。</p>

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される